

稲沢市観光協会ニュース

INAZAWA TOURISM ASSOCIATION NEWS



いなっぴーバス(善光寺)にて



発行所／稲沢市観光協会 発行人／服部 義逸 稲沢市朝府町15番12号(稲沢市産業会館内)

[TEL] 0587-22-1414 [FAX] 0587-22-1424 [HP] <http://www.inazawa-kankou.jp> [E-mail] inakan@inazawa-kankou.jp

NO.26
2015.1

新年のあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

平成27年の新春を迎え会員の皆様には心からお喜び申し上げます。

稲沢市観光協会は、発足以来10年目を迎えようとしています。稲沢市の観光事業推進に事務局職員共々全力を傾注してまいりましたが、その間会員皆様方的一方ならぬ御協力と御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年3月には、「いなざわ梅まつり」、4月の各地での「桜まつり」と「植木まつり」、6月の「稲沢あじさいまつり」、10月の「稲沢まつり」、11月の「そぶえイチョウ黄葉まつり」など各季節に応じた稲沢の特色を生かした行事には、市内外から大勢の方々を訪れ、稲沢の自然を楽しんでいただきました。

稲沢市の特産物を紹介する事業としては、「地産地消のおしゃれな料理教室パート5」の開催や「特産品紹介」等により本市の食文化の普及発展を期してまいりました。10月から実施いたしました「おすすめグルメシールラリー」や10月下旬から荻須記念美術館で開催されました「特別展 小磯良平展」と併せて協力店で実施しました「限定メニュー&スイーツ」につきましたは、多くの方々に参加していただきありがとうございました。

また、11月1日から3日間中部国際空港セントレ

ア屋外特設会場で開催されました「ゆるキャラ®グランプリ2014inあいちセントレア」に参加させていただき、いなっピーグッズの販売をとおして稲沢市のPRをさせていただきましたが、本市のマスコットキャラクター「いなっピー」は、観光客の皆様に変好評でした。

稲沢市観光協会では、全国に誇れる歴史的・文化的資源の活用を図るため、「稲沢観光ガイドマップ」、「稲沢市観光ガイドブック」、「美濃路ウォーキングマップ」等の配布や、「モニターバスツアー」、「いなっピーバスに乗って観光地を巡ろう」等のイベントを通じて、国府宮神社・稲葉宿跡・荻須記念美術館等を巡りながら稲沢の歴史・文化についての知識、理解を深める活動を進めてまいりました。

本年も、関係機関との連携強化に努め、「第9回いなざわ梅まつり」の開催をはじめ、観光資源の発掘、情報発信の充実を図りながら、多くの皆様にお越しいただけるよう努力してまいりますので、会員の方々を始め、市民の皆様のお支援と御協力をよろしくお願い申し上げますとともに、夢先案内人の「いなっピー」と一緒に、あちこちで皆さんにお逢いできることを楽しみにしながら、新年のごあいさつといたします。

本年もよろしくお願ひいたします。



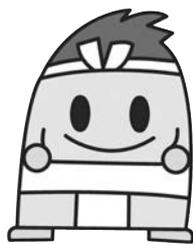
稲沢市観光協会 会長
服部 義逸



稲沢市のキャッチコピー



稲沢市長
大野 紀明



©稲沢市 いなっピー

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、平成27年の輝かしい新年をお健やかに迎えのことで、心からお喜び申し上げます。また平素より、市政の各般にわたりまして、御支援と御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

日本は、2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピック開催や2027年(平成39年)のリニア中央新幹線開業を見据え、外国人観光客を含む観光の推進に力を入れております。昨年は円安を追い風に、訪日客数が過去最高となりました。

稲沢市観光協会は平成18年に設立され、本市の観光振興の推進母体として観光のまちを目指し活動していただいております。稲沢市観光協会の事業は、参加者が毎年楽しみにしていただき、定着しつつあると感じております。

平成27年3月に愛知県植木センターで開催される『第9回いなざわ梅まつり』は、初春の風物詩として定着してまいりました。『モニターバスツアー』や『いなっピーバス』は、稲沢市の魅力をPRしていただき、大変好評であります。また、『おすすめグルメガイドin稲沢』や『おすすめグルメシールラリー』は、市内の飲食店を紹介し、このパンフレットをもとに初めての

お客様にお越しいただくなど、大きな効果を発揮されています。観光事業の推進は地域を活性化するものであり、今後の事業の展開に御期待申し上げます。

各種イベント時には、観光協会のボランティアの皆様にお活躍いただいております。きめ細かな配慮や温かいおもてなしの心こそが、観光客の心に残り、また次回、稲沢市に足を運んでいただけるものと思います。今後は、稲沢市マスコットキャラクター「いなっピー」や稲沢市PR大使であるご当地アイドル ラヴィーナ♥サーティ、そして、稲沢市キャンペーン・レディーの皆様とともに元気な稲沢市をアピールしていただき、稲沢市の知名度を上げ、一人でも多くの方が稲沢市にお越しいただければと思います。

本年も市では、「安心・安全で元気な稲沢」を目指し、稲沢市観光協会と連携し、さらに充実した事業を展開するとともに、市民の皆様が誇りと愛着の持てる観光まちづくりの推進に努めてまいりますので、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、本年が皆様方にとって幸多い良き年となりますよう、心から御祈念申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

監事

松尾 山田 加賀 酒井 伊藤 家田 山内 福島 林 横井 林 瀬川 近藤 白比野 眞野 服部 大野 吉川 鈴木 今井 公平 久保田 浩文

宗典 洋 雅行 章治 昭 鐵彦 晴雄 俊治 隆生 勝至 敬順 公宏 修 宏男 義逸 紀明 昭 純 鈴村 清

山元 橋本 服部 加藤 瀧野 金森 浅野 岩田 加藤 大宮 西村 山脇 齊藤 浅野 山田

健 正人 正見 久昌 涼二 信之 博 正行 睦郎 勝博 郁夫 敏夫 茂 忠志 信行

理事

副会長 眞野 宏男

会長

服部 義逸

名誉会長

大野 紀明

相談役

吉川 昭

顧問

鈴木 純

稲沢市観光協会 役員名簿
(二月一日現在)

謹賀新年

各種イベントに参加し観光PRと"いなっピーグッズ"や特産品の販売を行い、いずれの会場においても大変好評でした。



モニターバスツアー

～国府宮神社と文化財めぐり～

観光協会では、「国府宮神社と文化財めぐり」と題して関係箇所を巡るモニターバスツアーを計画し、参加者を募集したところ、80名の方が参加されました。

コースの国府宮神社では正式参拝後、神職から通常では聞かれない神社の歴史や「いわくら」の説明を受けることもできました。見学先となった寺院では、ふるさとガイドの方から説明を聞くことができました。また、祐専寺においては、観光ボランティアによる銀杏の試食やイチョウの木の散策・説明もあり、いろいろ趣向を凝らしたツアーとなりました。

- 期 日／平成26年9月26日(金)
- 場 所／国府宮神社—長光寺—亀翁寺—矢合観音周辺
[園分寺・安楽寺(船橋)・矢合観音・円光禅寺など散策]—祐専寺

参加者のアンケート結果では、満足と答えた方が59%、次回も参加したいと答えた方が56%となっており、参加者には大変好評でした。



稲沢サンドフェスタ

今年度もイベント開催を二日間とし、砂像の制作期間(9月27日～10月10日)、展示期間(10月11日・12日)に制作の様子や完成品の見学ができるようになりました。

来場者は、イベント開催の両日とも天候に恵まれ、49,000人が来場されました。

会場となりました国営木曾三川公園ワイルドネイチャープラザ、県営木曾川祖父江緑地、市営祖父江ワイルドネイチャー緑地の3施設の総合愛称として「サリオパーク祖父江」と平成24年3月決定されて、3回目のサンドフェスタでありました。砂像のテーマを「～大切な○○へ、家族へ、友達へ、来場者へ、未来へ～」と題して10作品が制作され、チーム名「たくぼー&ななっぺ&ことちゃん」の題名「～大切なお父さん、お母さんへ～」が金賞の栄冠に輝きました。その他のイベントとしては、サンドアート体験コーナー、宝さがし大会、スタンプラリー、飲食店コーナーなどたくさんの催

- 期 日／平成26年10月11日(土)・12日(日)
- 場 所／サリオパーク祖父江

し物が開催され、参加者は夢中になっていました。

また、今年度の「ご当地キャラクター大集合!」では、「いなっピー」を始め近隣の「あまえん坊」、「い〜わくん」、「はるちゃん」など、県外からも「タボ君」、「いが☆グリオ」、「えべっちゃん」など32体が出演し、チビっ子達との触れ合いや、記念写真を撮っていました。

観光協会では、観光コーナーを設置し、稲沢観光ガイドマップや観光チラシ等で観光PR、「いなっピーグッズ」の販売を行いました。



金賞「～大切なお父さん、お母さんへ～」(チーム名/たくぼー&ななっぺ&ことちゃん)



平成26年度 稲沢まつり

今年は、18日(土)・19日(日)の二日間開催されましたが、天候にも恵まれ来場者は、両日で92,000の人出でありました。

国府宮神社参道の両側では、地元特産品販売などの出店や側道には露店が立ち並びました。また、参道屋外ステージでは、天下無敵の爆烈ライブや稲沢アイドルユニット(稲沢市PR大使)「LOVE♥INA30」などのライブが行われ、稲沢中学校会場では、電動ミニSL「いなっピー号で出発進行!」、ちびっ子プレイランドにはちびっ子の行列ができ大人気でした。また、園児のドリル演奏会が行われましたが、園児の姿を必死に追う両親や祖父母の姿が印象的でした。名古屋文理大学文化フォーラムでは、稲沢音楽祭、秋の芸術祭・芸能発表会など多彩な催し物が行われました。

18日(土)には、稲沢まつり会場をゴールとする「美濃路ウォー

- 期 日／平成26年10月18日(土)・19日(日)
- 場 所／国府宮神社参道、稲沢中学校、名古屋文理大学文化フォーラムほか

ク2014」が、19日(日)には、名鉄ハイキング(うるおいと緑の町稲沢のまつり会場を巡るコース)が開催され、まつりに花を添えました。

観光協会では、観光ボランティアの協力を得て稲沢市の観光PR、「いなっピーグッズ」の販売を行いました。



ご当地キャラ博 in 彦根

今年は、初日から天候にも恵まれ、イベント開催日中で、地元をPRするご当地キャラたちが42都道府県から242体参加、二日間の来場者数は、99,000人を記録、過去最多となりました。

観光協会は、市職員とともに稲沢市をPRするため今年も参加しました。ステージでは、それぞれのご当地キャラクターが地元のPRを行い、「いなっピー」は稲沢市を大いにアピールしてまいりました。また、「いなっピー」は多くの来場者との写真撮影にも応じ、人気を博しておりました。また、会場では、稲沢市の観光パンフレ

- 期 日／平成26年10月18日(土)・19日(日)
- 場 所／彦根中心市街地商店街一帯

ットの配布や、「いなっピーグッズ」の販売も行い、稲沢市のPRを行ってきました。



第17回そぶえイチョウ黄葉まつり

～日本一の黄金色 眺めてよし、翡翠色の銀杏 食べてよし～

第17回そぶえイチョウ黄葉まつりが、11月22日(土)～30日(日)の九日間にわたり開催されました。初日の22日(土)は、大村愛知県知事や大野稲沢市長等々の多くの来賓をお迎えし、オープニングセレモニーやイベント・アトラクションなど盛り沢山の催し物が開催されました。

今年も、テレビ局、ラジオ局、新聞等の報道関係からイチョウの黄葉や銀杏料理などについて、各種番組等に多く取りあげていただいた影響もあり、県内外から交通手段、イチョウ黄葉の見頃についての問い合わせなども頻繁にありました。期間中の、振替休日、土曜・日曜日には、イベントも開催され、祐専寺周辺に出展された地元飲食組合のお店や物販店では、観光客でごった返し、農家の人も銀杏の販売に追われていました。

11月30日には、人力車に乗って「イチョウ散策ツアー」や、「歌謡ショー」なども開催され好評でした。

観光協会では、市内外からイチョウ黄葉を見に来ていただいた観光客の方々に稲沢市の観光ガイドマップや、祖父江善光寺東海別院、尾張七福神めぐり、荻須記念美術館などのチラシによる観光案内、「いなっピーグッズ」の販売をとおして稲沢市のPRも行いました。

●期 日／平成26年11月22日(土)～30日(日)

●場 所／祖父江町体育館会場、山崎会場(祐専寺及び周辺)

今年のイチョウの黄葉は、温暖な気温のため、色づきが遅れておりましたが、まつり後半には、見ごろとなり、山崎会場周辺では黄葉を楽しむ多くの人が訪れていました。



いなっピーバスに乗って観光地を巡ろう!

～秋です。いなっピーバスに乗って、自然の風情と歴史・文化を楽しもう～

観光協会では、市内外の方々に稲沢市の観光スポットを知っていただくため、市内の観光地を回るための巡回バスを1日8便(1時間おき)運行しました。

運行に当たっては、昨年実施のいなっピーバスを参考に、実施時期や乗降場所の選定に際しては、平成26年度特別展「小磯良平展」開催中の荻須記念美術館やそぶえイチョウ黄葉まつりの開催期間に併せ、参加者を募集しました。

当日は、風もなく絶好の行楽日和で、参加者も全体で110名の参加がありました。

参加者は、観光ボランティアによる案内や観光協会が今年度新たに作成した「いなっピーバス一日乗り放題!」マップを手に、随所を巡りながら、ちょっぴりプレゼントに協賛していただいたお店などへ立寄るなど、1日楽しく観光地の散策をしていただきました。

また、スタンプラリーにも多数の方が応募され、厳正な抽選の結果、「はっぴーいなっピー賞」に吉田さん始め10名、「らっきーいなっピー賞」に福島さん始め10名が当選されましたので、賞品を発送させていただきました。

●期 日／平成26年11月23日(日)

●コース／市役所 - 荻須記念美術館 - 国府宮駅 - 稲葉宿跡A - 稲葉宿跡B - 森上駅 - そぶえイチョウ黄葉まつり会場 - ふれあいの郷 - 刈萱堂 - 善光寺 - 祖父江支所 - 地泉院 - 下水道科学館 - 矢合観音前 - 市役所



いなっピーと一緒に稲沢市のPR活動

"いなっピー"と一緒に市内外に出かけ、観光パンフレットによる観光PRや"いなっピーグッズ"の販売を行いました。

全日本小学生ボウリング選手権大会

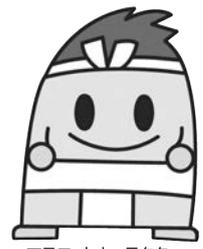
●期日／平成26年8月2日(土) ●場所／稲沢グラウンドボウル ●参加者数／選手、役員等 約250人

ゆるキャラ®グランプリ2014inあいちセントレア

●期日／平成26年11月1日(土)～3日(月・祝) ●場所／中部国際空港セントレア屋外特設会場
●出展ブース数／約240ブース

第9回愛知県市町村対抗駅伝競走大会「愛知ふるさと市」

●期日／平成26年12月6日(土) ●場所／愛・地球博記念公園 ●出展ブース／33ブース



マスコットキャラクター「いなっピー」

01 天下の奇祭『国府宮はだか祭』

●平成27年3月3日(火) ●場所/尾張大國霊神社(国府宮神社) TEL0587-23-2121
 ●交通/名鉄名古屋本線『国府宮駅』から徒歩5分・JR東海道本線『稲沢駅』から徒歩15分

「はだか祭」は、正式名称を「儼追神事(なおいしんじ)」と言います。今から約1240年前、奈良時代の神護景雲元年(767年)称徳天皇が、「全国の国分寺に悪疫退散を祈れ」と勅命を発した際、尾張国司が総社である尾張大國霊神社に於いても祈禱したのが、儼追神事となって現在まで伝えられています。

旧暦正月13日、はだか祭が行われる国府宮神社一帯は祭りの興奮に包まれます。

祭りは、42歳と25歳の厄年の男を中心に、尾張一円からサラシのフンドシ、白足袋をつけただけの数千人の裸男が、裸になれない老若男女が厄除けの祈願を込めた布(なおいざれ)を結び付けた「なおい笹」を、裸男たちが身代わりに捧げて威勢よく拝殿へ駆け込みます。

また、国府宮神社参道では、神男(しんおとこ)に触れて厄を落とそうと数千人のはだか男がもみ合います。



1
なおいしんじ しめばしらたてしき
儼追神事(はだか祭) 標柱建式

旧暦正月2日午前9時に行われる標柱建式。「儼追神事」と大書された標柱が第二鳥居と楼門前に建てられ、祭りの開幕を告げます。



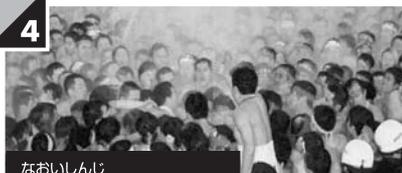
2
なおいにん(しんおとこ) せんていしき
儼負人(神男) 選定式

午前10時、志願者を儼追殿に集めてその年の神男を選定。神男は三日三晩、儼追殿にこもり祭りの本番にそなえます。



3
おおかがみもちほうのう
大鏡餅奉納

お供えとして奉納される大鏡餅は、なんと50俵どり(約4トン)という巨大な代物。祭りの前日、神男に迎えられ拝殿へ納められます。



4
なおいしんじ
儼追神事(はだか祭)

旧暦正月13日午後3時過ぎ、神男に触れて厄を落とそうとする裸男たちが神男を待ち構えて揉み合う。そこへ神男がとびこみ、祭りはクライマックスを迎えます。



5
よなおいしんじ
夜儼追神事

深夜の午前3時、罪穢をつきこんだ土餅を背負った神男が境外へと追出されます。そして、神男は途中で土餅をすてて帰宅し、神職はこの餅を地中に埋め、罪穢を封じ込めます。



6
おおかがみもちもちきりはじめ
大鏡餅餅切始

旧暦正月14日午前8時からは大鏡餅を切って参拝者に授与。この餅を食べると無病息災で過ごせるとの言い伝えがあり、多くの参拝者が集まります。

◆はだか祭関係行事日程表(平成27年)

月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
2月20日(金)	午前9時	① なおいしんじしめばしらたてしき 儼追神事標柱建式	正月2日
2月20日(金)	午前10時	② なおいにん(しんおとこ)せんていしき 儼負人(神男)選定式	正月2日
2月24日(火)	午前9時	なおいにん(しんおとこ)せんていしき 大鏡餅餅米洗	正月6日
2月25日(水)	午前5時	おおかがみもちもちつき 大鏡餅餅搗	正月7日
2月28日(土)	午後5時	なおいにん(しんおとこ)さんろう 儼負人(神男)参籠	正月10日
3月1日(日)	午前9時	つちもちつきしんじならびにひらしたため 土餅搗神事並秘符認	正月11日
3月1日(日)	午前9時	おおかがみもちもちつき 大鏡餅飾付	正月11日

月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
3月2日(月)	午後1時	③ おおかがみもちほうのう 大鏡餅奉納	正月12日
3月2日(月)	午後7時	ちょうやしんじ 庁舎神事	正月12日
3月3日(火)	午後3時	④ なおいしんじ 儼追神事(はだか祭)	正月13日
3月4日(水)	午前3時	⑤ よなおいしんじ 夜儼追神事	正月14日
3月4日(水)	午前8時	⑥ おおかがみもちもちきりはじめ 大鏡餅餅切始	正月14日
3月7日(土)	午後7時	まといしんじ 的射神事	正月17日
3月15日(日)	午前9時30分	ちゃかい なおい茶会	

稲沢市キャンペーン・レディーを募集

市の観光事業やイベントなどを、より一層華やかに盛りあげるため、歴史と文化のまちにふさわしい、理知的で活動的な方を募集します。

募集人員：3名
 応募資格：① 満18歳から満35歳までの女性
 ② 市、観光協会などの事業に1年間参加できる方
 ③ 親権者、雇用主の承諾を得た方
 ④ 類似した職務の任期中でない方
 応募期間：平成27年1月5日(月)～1月29日(木)
 応募方法：申込用紙に必要事項を記入し、上半身の写真を添えて、稲沢市観光協会へ

申込用紙：稲沢市(本庁、支所、市民センター)及び観光協会にあります
 面接審査：2月13日(金)
 主な業務：観光協会及び市等が開催するイベント、各種行事のPR活動
 任 期：平成27年4月1日～平成28年3月31日
 そ の 他：① 日当 9,200円 ② 交通費、食費は支給しません
 ③ 被服、その他装飾品は貸与します
 ④ 勤務中の災害は加入保険の範囲で補償します
 問合せ先 稲沢市観光協会 電話 0587-22-1414

02 第9回いなざわ梅まつり

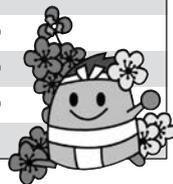
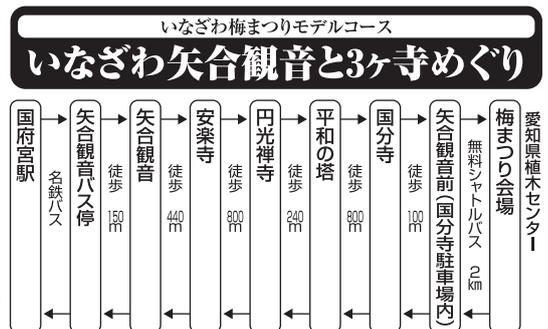
“みんなでいこまいかあ〜”稲沢へ!!

●平成27年3月7日(土)・8日(日) ●AM9:30~PM4:00
 information ●場所/愛知県植木センター

稲沢市は、全国的に植木、苗木の日本4大生産地の一つとして知られており、植木、苗木の研究・研修機関として愛知県植木センターが開設されています。園内には、多種多様な樹木が集められており、四季折々に花が咲いております。とりわけ、梅は104種類、200本余りが植栽されており、全国的にも大変貴重な見本園であり、開花時期には多数の見学者で賑わいます。

早春に美しい花を咲かせる梅の花を、皆様に堪能していただくため、愛知県植木センターの協力を得まして第9回いなざわ梅まつりを開催します。

イベント内容	日時
写真・俳句大会入賞作品展	2月24日(火)~3月8日(日)
写真コンテスト	3月2日(月)~応募締切まで
俳句大会	3月2日(月)~3月8日(日) 執務時間中
盆梅・お雛様・吊るし雛展	3月4日(水)~3月8日(日)
飲食・抹茶コーナー	3月7日(土)・8日(日)
稲沢市特産品の販売	3月7日(土)・8日(日)
植木・苗木の販売	3月7日(土)・8日(日)
郵便切手販売	3月7日(土)・8日(日)
いなッピーふれあいステージ♪	3月7日(土)・8日(日)
樹木ウォッチング	3月7日(土)・8日(日)
愛知県植木センターへようこそ!	3月7日(土)・8日(日)
一宮高等技術専門学校稲沢校舎総合造園科開放スタンプラリー!	3月7日(土)・8日(日)
樹木医による緑化相談	3月7日(土)・8日(日)
県緑化樹木共進会受賞写真展	3月7日(土)・8日(日)
竹細工・子供向けコーナー	3月7日(土)・8日(日)
健康相談コーナー	3月7日(土)・8日(日)
史跡 尾張国分寺跡見学ウォーキングツアー	3月8日(日)のみ



03 へいわさくらまつり

●平成27年4月4日(土)
 information ●場所/平和町体育館

《イベント》ステージイベント、飲食コーナー、抽選会など
 平和町には、総延長約2.8kmを桜並木でつないでいる桜ネットワークがあります。

ここには、八重桜を中心に約60種類の里桜およそ1400本が咲き誇り、3月から4月末まで楽しむことができます。



04 稲沢桜まつり

●平成27年4月4日(土)
 information ●場所/国府宮神社参道一帯

《イベント》ステージイベント、茶会、写生大会、飲食コーナーなど
 国府宮神社参道に咲く満開の桜の下で、茶会や演奏会、写生大会などの催しが開かれます。
 夜には桜をライトアップし、美しい桜が浮かび上がります。



稲沢市観光協会会員を募集しています

会費：法人会員 一口5,000円以上 / 個人会員 一口1,000円以上

平成18年8月7日に稲沢市観光協会が設立して、はや10年目を迎えようとしています。会員の皆様方のご理解とご協力によりまして、事業も着実に進んでいるところで。

今後、さらに観光都市として、市内外からのお客様へのおもてなしのため、観光施設や特産品など観光資源の整備はもとより、歴史、文化、景観といった地域観光への体験の機会や、情報発信などの拡充が必要です。

そこで、稲沢市の観光振興を図るため、観光協会の組織基盤の強化と活性化のため、多くの会員の募集をいたします。お知り合いなどで未加入の方がお見えになりましたら、是非、会員への勧誘をお願いいたします。